

千葉県成田市

取組主体： 伊能歌舞伎米研究会

取組開始時期： 平成23年2月

解消面積： 1.9ha(平成23年3月時点)

導入作物： 水稻

1. 取組のきっかけ・経緯

成田市伊能地区は、日当たりが良く圃場整備がされた地区であるが、年数の経過に伴う暗渠の機能低下や地主の高齢化等により、一部の水田が耕作放棄されたことで、ゴミが不法投棄されたり、病害虫のすみかになるなど、景観上や防犯上で地域の問題となっていた。

そこで、同市大栄地区のブランド米生産者団体である「伊能歌舞伎米研究会」の有志が、伊能歌舞伎米生産地の中心である伊能地区の水田を再生し、生産・販売促進・宣伝等を行い、地域の活性化を図った。

2. 取組内容

伊能歌舞伎米研究会が、地域おこしのために再生した農地に地域ブランド米「伊能歌舞伎米」を作付することを計画。平成22年度に「クボタeプロジェクト」を活用し、耕作放棄地の草刈・抜根・整地・耕耘等を行った。排水不良を改善するため、「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」を活用し、暗渠整備を行った。

耕作放棄地の暗渠整備により、隣接する農地の水はけも良くなり、隣接農地の作業効率が向上した。

本取組により地域に「耕作放棄地を発生させたくない」との意識が芽生え、再生した農地は、以前から交流のあった東京都品川区の小学生が行う農業体験教室の場として活用している。なお、当小学校では伊能歌舞伎米研究会が栽培した米を購入し、生徒が食べる給食に使用している。生徒は栽培・収穫・食事を通じて「食べ物を作る難しさ」「食べ物を収穫する喜び」を学んでいる。

3. 今後の課題・予定など

当地区は、暗渠機能の低下による排水不良や地権者の高齢化等により耕作放棄地が発生したが、農産物価格が低迷する中、相当な費用を投じて暗渠を再整備することは困難である。また、農業従事者の高齢化が進み、現状のままでは条件の悪い農地は荒れ、景観や防犯等の様々な問題を誘発する恐れがある。

そのため、担い手への農地集積に努め、「耕作放棄地を発生させない・これ以上増やさない」ことが最も重要と考えている。また、地域内で同じ目的をもつ仲間との横の関係を持つことが、地域農業を維持していく上で大切だと考えている。

4. 活用した補助事業

- ・クボタeプロジェクト(補助内容:農地再生利用活動(障害物除去、深耕、整地等))
- ・耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(補助内容:施設等補完整備(暗渠排水設置))



再生前



再生後